

るり色新聞

2026年4月
春号



〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3602-1
TEL.0955-29-8166 FAX.0955-29-8167

写真:伊万里神社

障害者支援施設 瑠璃光苑

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙403-1

TEL.0955-23-2767 FAX.0955-23-2736

- ◆ 施設入所 ◆ 生活介護(入所)
- ◆ 短期入所 ◆ 日中一時支援

デイサポート 瑠璃光苑

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙403-1

TEL.0955-20-4520 FAX.0955-20-4521

- ◆ 生活介護(通所)
- ◆ モーニングサポート(独自事業)

瑠璃光苑 ホームヘルプ事業

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙403-1

TEL.0955-29-8158 FAX.0955-20-4521

- ◆ 居宅介護 ◆ 重度訪問介護
- ◆ 同行援護 ◆ 移動支援事業
- ◆ 訪問介護

総合相談センター

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3602-1

パーソナルサポートセンター空(くう)

- ◆ 相談支援事業 指定一般・特定・児童

TEL.0955-25-9975 FAX.0955-25-9191

瑠璃光苑(居宅介護支援)

- ◆ 介護保険・ケアマネジメント事業

TEL.0955-29-8122 FAX.0955-25-9191

障害者就労支援センター

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3609

TEL.0955-21-0358 FAX.0955-23-8780

- ◆ 就労継続支援B型 Jobセンター ピンヤット
- ◆ 生活介護(通所) Jobセンター シャキッと
- ◆ 就労定着支援 就労定着支援RuRi

グループホーム ビラ・ラズリ

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3391-3

TEL.0955-21-0111 FAX.0955-21-0117

- ◆ 共同生活援助

グループホーム KITEN ショートステイ KITEN

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3602-1

TEL.0955-25-8125 FAX.0955-22-7753

- ◆ 共同生活援助 ◆ 短期入所

グループホーム WAGEN ショートステイ WAGEN

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙3602-1

TEL.0955-29-8224 FAX.0955-22-7730

- ◆ 共同生活援助 ◆ 短期入所

医王こども園

〒848-0035 伊万里市二里町大里乙401

TEL.0955-23-2337 FAX.0955-23-2407

- ◆ 保育所型認定こども園

ホームページ アドレス
<https://rurikouen.jp>



ごあいさつ 理事長 大宅 啓子

平素より東方会の活動に当たっては皆様方のご支援に感謝申し上げます。

令和7年度は、医王保育園がこども園として再スタートを切った年となりました。また、瑠璃光苑開苑30周年を迎え、7月記念式典を皮切りに年間を通して様々な記念事業を実施しました。中でも開苑当初より先達として様々な支援をいただいた長興会様との合同研修会を2月に実施しました。また、次の30年をめざして、佐賀県のDXアクセラレーター支援事業伴走支援を受けてDX認定を取得することができました。その中で佐賀県の介護テクノロジー導入支援事業費補助金を受け入所施設で非接触オムツセンサー等の導入をいたしました。

人手不足が一層深刻になる中、業務効率化が求められています。効率化により少ない人手でサービスの質を落とすことなく、むしろ向上につなげていくことを目指す必要があります。今年度は入所施設の取組みを法人全体へ広げてDXの推進をめざします。

もう一つの課題は入所施設多床室の解消です。一朝一夕に解決することは難しく、まずはどのような方法があるのか、資金はどの程度必要かといった基本的なことを検討していくこととしています。

今年度も東方会の事業運営に対しご理解ご指導をよろしくお願いいたします。



伊万里市初！「DX認定」を取得いたしました

—— デジタル活用で、もっと寄り添う介護の未来へ ——

当法人はこの度、経済産業省が定める「DX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度」において、準備が整った優良な取組を行う法人として認定を受けました。

■ 佐賀県の「伴走支援プログラム」に選出

令和6年度より「DX推進委員会」を発足し、専門家のアドバイスを受けながら業務のデジタル化を進めてまいりました。県内15社が参加するワークショップの中から、5社限定の「伴走支援プログラム」対象法人に選ばれ、半年間にわたり組織全体の意識改革と基盤整備に取り組んだ成果です。

■ 「地域初」「全国でも数少ない」価値ある一歩

今回の取得により、当法人は以下の通り、公的にも非常に高い評価をいただいております。

- ・伊万里市：市内の全業種で **唯一** の認定取得
- ・佐賀県内：社会福祉法人として **2法人**（全体22社中）
- ・全 国：社会福祉法人ではわずか **8法人**

※令和8年2月時点

■ 私たちがデジタル化を進める「本当の理由」

「デジタル化」と聞くと、少し冷たい印象を持たれるかもしれませんが、私たちの目的は「効率化で生まれた時間を、より手厚い利用者支援に充てること」にあります。

1.安全・安心なケアの向上

情報共有をスムーズにし、ミスを防ぐ体制を整えることで、一人ひとりに最適な支援と安全な環境を提供します。

2.職員の負担を軽減

ICT機器等の活用により、職員の精神的・肉体的な負担を減らし、「心」にゆとりを持って利用者様と向き合える環境を作ります。

3.地域に根ざす

時代に合わせた先進的な体制を構築し、地域の皆様からより一層信頼される法人を目指します。

今回の認定を新たなスタート地点とし、これからも「心」を大切にサービスを提供できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。

瑠璃光苑 開苑30周年記念 合同研修会を開催しました

去る2月20日、当苑の30周年を記念し、社会福祉法人長興会の田口一樹理事長様をはじめ11名の皆様をお迎えして合同研修会を開催いたしました。

何も分からなかった開設当時、長光園の皆様が手取り足取りご指導くださったあの日から30年。これまでの温かなお力添えに、改めて心からの感謝をお伝えしました。

田口理事長のご講演からは、支援者が常に持つべき「心」の尊さを学び、利用者様に寄り添う大切さと有り難さを改めて深く胸に刻みました。

その後の情報交換会では笑顔が絶えないなかで支援の本質を見つめ直す豊かな時間となりました。

30年前と変わらず私たちを導いてくださる長

興会の皆様は、今もなお高く大きな目標です。その後ろ姿に少しでも近づけるよう、お伝えいただいた『初心』を大切に、これからも一歩ずつ後を追わせていただきたいと願っております。



令和8年度 事業統合

進化し続ける支援のカタチ — 「働く」に寄り添い、共に歩む

障害者就労支援センター センター長 浅井 孝秀

日頃より当センターの活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちの歩みを振り返りますと、大きな転換点は平成20年4月にありました。当時は利用者定員20名の「就労継続支援B型事業 Jobセンターピシャット」として産声を上げました。それから5年後の平成25年4月、さらなるニーズに応えるべく「障害者就労支援センター」へと名称を改め、B型事業の「ピシャット」に加え、生活介護の「シャキット」、就労移行支援の「キリット」を併設した定員40名の多機能型事業所へと体制を強化いたしました。

私たちは、その名の通り「ピシャット、シャキット、キリット」した自立した生活と就労を目指し、利用者一人ひとりの可能性を信じて歩んでまいりました。特に近年はジョブコーチ事業や就労定着支援事業にも注力し、施設内での訓練に留まらず、一般企業での就職とその後の継続的なフォローアップまで、「働きたい」という願いを包括的に支える体制を築いております。

そして4月より、当センターは新たな一歩を踏み

出しました。これまで担ってきた「就労移行支援事業 Jobセンターキリット」の機能を、B型事業である「ピシャット」へと統合いたします。これに合わせ、ピシャット内に新たに『企業への一歩を応援するプログラム』をスタートさせます。

「事業所の名前がなくなることで、就労への道が遠のくのでは？」と心配される方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。むしろ、より柔軟な形で、皆さんの「働きたい」という気持ちを後押しするための進化です。今後は、慣れ親しんだピシャットの活動の中で、それぞれのペースを大切にしながら、よりスムーズに社会へとステップアップしていけるよう、これまで以上に一般就労への支援に真心を込めて取り組んでいく決意です。

時代は変わっても、私たちの根底にある「地域の障害者が生き生きと働ける社会をつくる」という情熱は変わりません。新体制となっても、スタッフ一同、皆様の笑顔のために全力で邁進してまいります。今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

見守りセンサー 導入のお知らせ 入所

令和7年12月より、県の補助金を受け「見守り機器」を導入いたしました。「ご利用者の安全」と「職員の負担軽減」を両立し、より手厚いケアを実現するための重要な一歩と考えております。現在は本格運用に向けた最終調整中ですが、今後さらに有効活用し、サービスの向上に役立ててまいります。

(上) 排泄センサー



(下) バイタルセンサー



同行援護研修

相談支援

令和8年1月、2月に同行援護研修の一般課程と応用課程を5日間に渡り開催しました。講師のたかだ電動機(株)視覚障害者支援部てんとうむし 南奈々先生より視覚障害者の制度や福祉サービスから支援の方法まで、幅広くご講義いただきました。



研修を受けて…

岩永 隆 (PT)

「これからどれだけICT等が広く普及していくとしても、やはり対人援助の基本は何も変わることなく、人と人の繋がりで成り立っている」 同じ受講生の言葉ですが、とても共感しました。アイマスクをつけた模擬体験を受けて、これまで自分が行っていた外部情報の提供がいかに少なかったかと反省しました。研修初日、あの狭い空間を歩くだけでも、自分の周囲が把握できずにいました。しかし、研修を重ねる中で、情報の提供がいかに安心感を生み、それが対人援助の基本であることを実感しました。

今後は、学んだ対人援助方法を生かしながら、住みやすい街づくりに少しでも貢献していけたらと思います。例えば、視覚障害のある方が一人で食事をされていたら、「クロックポジション(時計の時刻)」を用いてさりげなく話しかけてみたいと思います。また、普段の食事介助の場面でも、この「情報の提供」を応用できるよう頑張りたいと思います。

犬山 信幸 (生活支援員/ヘルパー)

私たちは目隠しをして、歩行、食事、買い物を経験しました。最終的には、自身の目で見て「答え合わせ」ができました。こういう道を歩き、こういう食事を摂り、これが買った物なのだと思いましたが、視覚障害の方はそうはいきません。もし私たちの説明が、その方にとっての唯一の「答え」になるとしたら、もっと細かい情報を伝えていかなければいけないと強く感じました。

これから接する機会も増えてくると思います。今回の研修で学んだことを活かせるよう、先輩の意見も聞きながら真摯に取り組んでいきます。

村上 優太 (ヘルパー)

実際に目隠しをして視覚障害の疑似体験をしてみて、状況説明とお互いの信頼関係がいかに大事かを痛感しました。苑内での階段の上り下りやちょっとした段差、道路の状況、道の悪さ、さらにバスや電車の乗り降りや食事など、さまざまな場面を経験しました。「どう説明したら相手に伝わるのか」と深く難しく考えすぎていましたが、実は「見たまま」を説明すれば伝わるのだと分かりました。

実際の同行援護で買い物や通院にも行きましたが、どのルートで行けばいいかを常に考えながらなので、変に力が入り、すごく疲れてしまうのが現在の本音です。焦らず、徐々に慣れていけるよう頑張りたいと思います。

卒園児インタビュー

医王こども園

- ① おおきくなったら
- ② こども園で楽しかったこと
- ③ 小学校で頑張りたい事

ふくだ けんしん ①アイス屋さん ②クリスマス会でサンタさんが来たこと ③宿題を頑張る

かねこ はすみ ①アイス屋さん ②外遊びをしたこと ③運動を頑張る

たなか けんご ①消防団 ②鬼ごっこをしたこと ③勉強を頑張る

いけだ あかり ①ケーキ屋さん ②折り紙で製作をしたこと ③勉強を頑張る

くすだ ゆう ①動画配信者 ②お絵描きをしたこと ③宿題を頑張る

ひがしかわ かんた ①警察官 ②わくわくチャレンジでカレーを作った事 ③宿題を頑張る

なかのせり む ①消防団 ②クリスマス会でサンタさんが来たこと ③運動を頑張る

たなか りん ①ケーキ屋さん ②ままごと遊びをしたこと ③宿題を頑張る

かわさき えいた ①美容師 ②外遊びをしたこと ③算数の勉強を頑張る

からつや かける ①アイス屋さん ②ドッチボールをしたこと ③宿題を頑張る

いまい りつき ①消防団 ②電車で遠足に行ったこと ③運動を頑張る



担任 山田 佐代美より

進級したころのみんなは、まだあどけなく感じましたが今ではしっかり者のお兄さん、お姉さんになっている行事に取り組み、諦めずに最後まで頑張るひまわり組さんに成長しました。みんなと過ごした時間は先生の宝物です。そんなみんなはこの春、大好きな医王こども園を旅立ちます。4月からはワクワクドキドキの小学校生活がスタート！大きく羽ばたいていってください。これからもみんなのことを応援しています。

移住フェスタ

東京で伊万里の魅力を発信！ 「佐賀県 暮らし&しごと体感フェア」参戦記

12月13日、東京・有楽町で開催された移住イベントに参加してきました。会場は前年比220%の300を超える方々が来場！佐賀への注目度の高さに圧倒される、熱気あふれる一日となりました。

当法人が出展した一番の願いは、都会で多彩な経験を積んできた皆さんに、そのスキルを伊万里の福祉現場で活かし、自分らしい「豊かな暮らし」を叶えてもらうことです。ブースでは、仕事内容だけでなく「移住サポート」についても丁寧にご案内し、多くの方と未来の暮らしについて語り合いました。

地域の魅力を伝えることも、私たちの「地域共生社会づくり」の大切な活動です。佐賀県そして地元の皆さんと手を取り合い、これからも「ここで働きたい、住みたい」と思えるフレッシュな情報を発信してまいります！



読書会 ホームヘルプ 同行援護

2月22日同行援護を利用し、読書会へ参加されました。

今回の題材は「100万回いきだねこ」。二班に分かれて話題に沿って話し合いをされました。主人公の気持ちになって考えたり、作者の考えや背景を知ったり、絵を詳しく見て、そこから見えてくるものもあったり、色々な角度で話し合いを拡げられました。

読書会は、本を媒介とした他者とのコミュニケーションです。同じ作品について数名のグループで語り合い、参加者同士で感想を共有しあうことで、読書の幅が広がり、その作品についてさらに深く考えることができます。会場は小学校とコミュニティセンターが合築された複合施設です。
(読書会 案内チラシより抜粋)



伊万里駅周辺の確認をしながらご自分で歩く練習をされました



点字でメモを取られています

小松氏より

私は目が見えないので絵本に書かれている絵についてよく質問をします。すると小さな女の子だけ背景がない事が分かりました。皆さん背景がどうしてだろう？と色々話が広がって盛り上がりました。いつも、たくさんの事を教えてもらったり、新しい視点から本の内容を考えたりできるので毎回楽しみに参加しています。

節分 入所

2月3日に、季節の行事「節分」にあわせて、節分イベントを開催しました！
会場には鬼が登場し、利用者の方々は少しドキドキしながらも元気いっぱい、日本の伝統行事である節分にちなんで、「鬼は外！福は内！」の元気な掛け声とともに豆まきを行いました。
豆まきには、「悪いものを追い払い、福を呼び込む」という意味があります。みんなの元気な声で、きっとたくさんの福が舞い込んでくることなのでしょう！



バレンタイン ミニクッキング

デイサポート

2月14日バレンタインデー♡今年のミニクッキングはチョコパイにデコレーションをしました。チョコペンやトッピングを使って、チョコパイがカラフルに変身♪
「楽しいね〜！」「また、やってみたい」「美味しかったよ！」と楽しげな声が飛び交いました。



おひなマルシェ

デイサポート



ぽかぽか陽気の日曜日、市内にあるまちなか壱番館において開催されたおひなマルシェの販売会に参加しました。

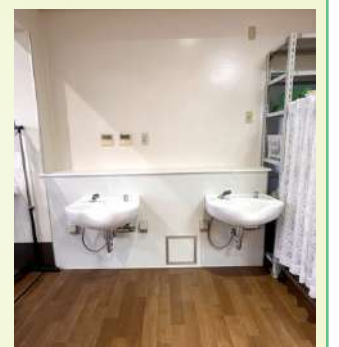
館内には所狭しとおひなさまが展示されており、中には大正時代の貴重な物もあり見ごたえ充分なイベントでした。販売ブースでは、デイサポートの看板商品の刺し子シリーズを手にとって頂き、お客様から「よくできているね〜」との声も聞かれました♡



フロア改修 デイサポート

施設の利便性・機能性・快適性を高めることを目的とし、和室を改修しました。

広々とした空間に生まれ変わったデイサポートの空間で、より良いサービスを提供していきます。



おすすめ商品

Jobセンターシャキット

ポシェット
1,100円(税込)



Jobセンターピシャット

動物小銭入れ
660円(税込)



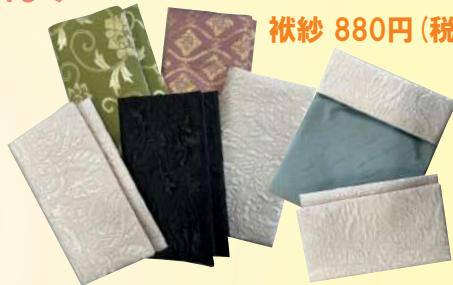
母の日の
プレゼントに♡

ラッピング
承ります

うさぎポーチ 1,100(税込)



袱紗 880円(税込)



マチ付きポーチ 850円(税込)



デイサポート

刺し子シリーズ
800円~1200円



お問い合わせ先
障害者就労支援センター TEL:0955-21-0358
FAX:0955-23-8780

お問い合わせ先
デイサポート 瑠璃光苑 TEL:0955-20-4520
FAX:0955-20-4521

販売会にはセンターの利用者のみなさんも
参加され、接客をされています

販売会参加者 インタビュー

ピシャット利用者
池田さん



- Q** 販売会に行ってみてどうでしたか？
- A** 自分が頑張って作った商品が売れてとってうれしかった♪「かわいい」って言ってもらえた。また頑張って商品を作ろうと思います!!



今後も地域のイベント等で販売予定です!
出店情報は就労センターのInstagramで
ご確認ください!



新人紹介

ひらかわ たける
入所 平川 豪琉



この度、1月より入所に配属されました平川豪琉です。まだまだ分からない事ばかりで迷惑をかけると思いますが、1日でも早く業務を覚え皆さんの力になれるように頑張ります。これからよろしくお願いたします。

お悔み 和田正幸さん(入所)
中村 瞳さん(居宅介護支援)
ご冥福をお祈りいたします

発行：社会福祉法人東方会(理事長 大宅 啓子)

編集：広報委員会(委員長 江頭結花)

市川静代 鵜池愛梨 石田 遥 大串貴代子
金子香織 久保 要 原喜実子 平川 琴深
松永彩花 村上優太 山口菜美子 山崎みどり
山本朱里 吉永久美子
(以上、五十音順)

印刷：障害者就労支援センター
Jobセンター ピシャット